



岩淵陽向交通安全委員長(中央)が指定書を受け取り、自転車の安全利用と盗難防止を誓った

自転車安全利用・盗難防止モデル校

対策徹底、地域の模範に

奥州署

水沢工高 効果期待し継続指定

奥州署大越剛署長は、本年度の自転車安全利用と自転車盗難被害防止のモデル校に県立水沢工業高校と市立水沢南中学校を指定。大越署長は「重要なのは対策を徹底すること。いつも完全とい

うのは難しいが、だからこそ協力し、模範となるべく尽くしてほしい」と願った。中高生の自転車安全利用のために行う恒例の取り組み。両校とも2年連続での指定で、同署交通課は「よ

り効果的な実施のため継続指定が望ましいと判断した」としている。25日、水沢工業高校で指定書交付式が行われ、大越署長が同校交通安全委員会長の3年、岩淵陽向委員長(17)に

指定書を手渡した。

岩淵委員長は▽時間之余裕を持ち、スピードを出し過ぎない▽交通ルールを守る▽施錠は二重ロックを心掛け、決められた場所に駐輪する——と決意表明。「事故、盗難防止のため、地域の模範となるような自転車利用を徹底する」と誓った。水沢南中には26日に指定書を交付する。期間は来年3月31日まで。